

新型コロナウイルス感染症について ver. 2

R2/2/29 院長

★新型コロナウイルス感染症 (COVID 19)

現在流行している新型コロナウイルス感染症の名前が COVID 19 と命名されました。これは、19:2019 年に発生した C0:コロナ VI:ウイルス D:疾患の意味です。コビッドあるいはコービッドと読みます。

★感染力は？ 256 万人 vs 215 人

一人の患者から何人に感染させうるかの指標があります。身近なインフルエンザで 1.4~4 人で、麻疹 12~18 人、風疹 6~7 人です。COVID 19 は今のところ 1.4~2.5 人と考えられており、インフルエンザと同等かあるいは低い数字です。麻疹や風疹よりも全然少ない数字です。感染力に関しては特に強いという証拠はありません。

季節性インフルエンザは通常日本人の約 1000 万人以上が罹患します。ちなみに今年の 1 月 1 ヶ月のインフルエンザ罹患患者数は約 256 万人です。では COVID 19 はどうかというと 1/15 に国内第一例が確定してから約 1 ヶ月が経過し 2/29 時点で COVID 19 感染者は国内で 215 人（クルーズ船は除く）程度です。連日感染者がでたと報道されていますがインフルエンザ罹患患者の数と比べて千分の一と全然桁が違います。ただし、インフルエンザは迅速検査がありますが、COVID 19 は今のところ迅速検査は国内にはなく軽症例は検査できないので患者数はおそらくかなり過小評価されていることは考慮する必要があります。今後も患者数は増えますが果たしてインフルエンザ並みの流行になるのでしょうか？

★死亡数は？ 2000~3000 人 vs 5 人

右の表 1 は厚労省の発表しているインフルエンザによる死亡者数・死亡率の値です。年間数千人の方がインフルエンザにて亡くなっています。2019 年 1 月だけで 1685 人がインフルエンザで亡くなっており、

	H30 年	H29 年
死亡数 (人)	3323	2569
死亡率 (人口 10 万対)	2.7	2.1

表 1 インフルエンザによる死亡者数

1 日平均で死者 54 人となります。また米国では、今シーズンすでに 1 万人以上の方がインフルエンザで亡くなっています。2/29 時点で国内発生例の COVID 19 での死亡数は 5 人だけです。今後の推移を注意深く見守る必要はありますが、絶対数ではかなりの違いがあります。2/29 時点で WHO（世界保健機構）の報告によれば世界全体では死亡率（死亡数/感染者数）は 3.4%で、中国以外の死亡率は 1.4%となっています。軽症例はおそらく検査されないことが多いと予想されますので、実際の死亡率はこれよりかなり低い数字になるでしょう。

★2/29 時点でのまとめ

感染力・死亡数共にインフルエンザと比較して COVID 19 の方がすごく恐ろしい感染症であるという事実はありません。インフルエンザが予防ワクチンもあり、迅速検査もあり、治療薬もあるのに罹患患者も死亡者数も圧倒的に COVID 19 より多いのです。

現在さまざまな自粛が行われ、多くの方が不安な状況に置かれていますが自粛は少なくとも感染症の専門家の話し合いでの決定ではなく政治的な決定であることは心に留めておく必要があります。COVID-19 はあくまで感染症ですので、日本が間違った方向に行かないように感染症や公衆衛生の専門家集団が指揮をとるべきだと考えます。

“ものを怖がらなさ過ぎたり、怖がりすぎたりするのはやさしいが、
正當に怖がることはなかなか難しい “

寺田寅彦